

【ご案内】

大堀相馬焼(浪江町の名産品)
300年以上の伝統を誇る浪江町大堀地区で守り継がれてきた伝統工芸品

陶芸体験交流会

福島県外避難者への相談・交流・説明会事業

大堀相馬焼「京月窯」窯主近藤京子さんを講師にお迎えし、オリジナルのお茶碗やマグカップなどを作る陶芸体験を通して、皆さまと交流を図れたらと思います。

2022年9月29日(木)
13:00~15:00

場 所:株式会社パルティール 新鎌ヶ谷Fタワー10階
所在地:鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2丁目8-17
(裏面に地図を掲載しています。)

先着 30名様

参加費 1,500円 エプロン持参
【申込み】認定特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民サポートクラブ
043-303-1688または080-5418-7286
メールアドレス npo-club@par.odn.ne.jp

〈近藤京子さんご紹介〉
大堀相馬焼【近藤京月窯】の15代目である近藤さんは震災後の2011年12月、福島市内で築120年の古民家を改装したギャラリー兼工房を再開しました。食卓提案として、様々な要素を取り入れ、女性としての目線を大切に器を作っています。



マグカップ&ソーサー

*コロナ感染拡大の状況を確認しながら開催したいと思います。状況によっては中止になる場合もございます。
実施団体:認定特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民サポートクラブ

SAVE JAPANプロジェクト

参加者募集!

生きものの田んぼの稲刈り

谷津田の田んぼは、一年中豊かな満ち水があり、メダカやドジョウもたくさんすんでいます。お米を作ることは、生きものを守ることもつながります。

2022年8月27日(土)
9時45分~15時00分

【場 所】
千葉県緑区下大和田谷津田 駐車場あり
(千葉駅からバス45分「中野操車場」下車 徒歩5分)

【参加費】
小学生以上1人300円

【持ち物】 服装は長袖、長ズボン、靴下、軍手、帽子、飲み物、弁当、敷物、着替え、田んぼ用の長靴(汚れてもいい靴)など

【申込み・問合せ】NPO 法人ちば環境情報センターまで
申込みの際は、住所、参加者氏名、年齢、電話番号をメールしてください。
yatsudasukisuki@gmail.com 090-7941-7655(小西)

*小雨決行ですが、天候等により中止の場合は、前日までに連絡します。

主催:NPO 法人ちば環境情報センター
協力:損害保険ジャパン株式会社
認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPO クラブ)



東北と千葉の出逢いが広がりますように

縁 joy Vol.86 2022.8.1

発行:認定特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
連絡先:〒261-0011 千葉県美浜区真砂 5-21-12
☎043-303-1688 E-mail npo-club@par.odn.ne.jp
発行部数:2,000部
福島県から千葉県へ避難されている方の数:1,423名
(令和4年4/8現在)

「千葉の食べどころ」をご紹介します。

『ブレットハウス』



店の人気No.1



「ムーンハーフ」

『ブレットハウス』

住 所:297-0033 茂原市大芝 3-1-2
電話番号:0475-36-6505
営業時間:7:00~19:00
定休日:月・火曜 *祝日は通常営業

『ファッタ ア マーノ』



同じ敷地内で営業している都築さんの娘さんご夫婦のイタリアン料理店

『ファッタ ア マーノ』

住 所:297-0033 茂原市大芝 3-1-2
電話番号:0475-36-2159
営業時間:11:00~15:00 17:30~21:30



情報紙「縁 joy」は、福島県外避難者への相談・交流・説明会事業を活用して東日本大震災で被災し、千葉県内で暮らす皆様の不安や悲しみが少しでも軽減されるようそして、被災者に対する理解が広まることを願って作成・発行しています。

身体と心の小ネタ 第70便

「だれかに認めてもらいたい心」

今年は、梅雨が早くあけ、急に暑くなり少しぐったりしているかもしれません。昨年までは、雨がしとしと降り、気分が落ち込むこともあったかもしれませんが、静かな雨の中、のんびりする時間がとれていたのではないのでしょうか。今年は、ギリギリ太陽の中で、心が疲れてはいませんか。なぜ心が疲れるのでしょうか。疲れた自分を見つめてみると、だれかに認めてもらえなくて、苦しんでいたりしませんか。実は人は誰かに認めてもらいたいという、承認欲求があります。これは誰でも持っているものです。承認欲求には3種類あり、①家族や親戚のような、身内の人に認められたい欲求。②仕事や近所の人、自分がある程度知っている人に承認されたい欲求。③知らない一般の人に承認されたい欲求です。皆さんが行動をおこす時、その原動力は、家族のために頑張るか、地域の人のために頑張るなど、誰かに認めてもらいたいと思っていることが多いのです。そのことは素晴らしいことなのですが、常に誰かに認めてもらいたいと思いつつ、心が苦しくなります。なぜなら人はいつも自分を褒めてくれるとは限らないからです。昔は、何かいいことをした時、だれが見ていなくてもお天道様(太陽・神様・仏様などの象徴)は見ていたと言ったものです。ですから、自分が一生懸命やったことは、誰かに認められなくても、お天道様は認めてくれると、考えるのはいいかでしょうか。今日のギリギリの太陽を見て、自分のできていることを、太陽は認めてくれると感じると、心が少し安らぐかもしれません。

一般社団法人 千葉県公認心理師協会